

上手な話し方を身につける

1 ねらい

中学生が自分の体験をふまえて小学生の質問に答えることによって、小学生が持っている中学校入学に対する不安を解消するための支援とする。そのために、自分の日常の言葉づかいについて振り返り、相手に対して心地よい言葉づかいとそうでない言葉づかいの違いを知る。また、心地よい言葉づかいの良さに気づき、実生活の中での実践に結びつける。

2 活動

(1) 前回の振り返り

(2) 人間関係作り

自分も相手も大切にす表現を学ぶ

(3) 今日の活動を振り返る

3 対象 中学校2年生

4 展開

	学習活動・学習内容	教師の支援や留意点
導入 10分	<p>前回のワークの回答をもとにした寸劇を見て、攻撃的表現、非主張的表現、自分も相手も大切にす表現を知る。</p> <p>攻撃的表現、非主張的表現、自分も相手も大切にす表現の特徴に気づく。</p> <p>自分も相手も大切にす表現の何がよいのかを考える。</p> <p>セリフを示して、自分も相手も大切にす表現の特徴はどこにあるのかを考える。</p>	<p>教師が例を演じて見せる。</p> <p>前回生徒が書いた答えを使い、わかりやすく例を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ここではアニメのキャラクターを利用して生徒たちが考えやすいように工夫する</p> </div> <p>言葉づかいの特徴をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをはっきり言う ・相手のことも考えて言う <p>生徒に気づいたことをあげさせ、足りない部分は教師が補う。</p>
展開 35分	<p>自分も相手も大切にす表現の特徴を生かして、状況にあったセリフを考えワークシートに書く。</p> <p>2人組で対話をする。</p>	<p>特徴をできるだけ多く生かすようにさせる。</p> <p>2人組でまわりを気にせず対話ができるようになるべく広く場所をとらせる</p>
終末 5分	<p>振り返りカードに自分も相手も大切にす表現を学習した感想を書く。</p>	<p>気づいたことや感じたことを正直に書かせる。</p>